

科目名	国語科指導法		
担当者	藤川 和也		
授業形式	演習	科目ナンバー	
配当年次	1	科目群	専門科目(保育士証)
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:小教免		
授業の概要	学習指導要領に示された国語科の目標や内容を、実践事例の検討や教材研究を通して理解するとともに、指導上の留意点、評価の方法を学ぶ。また、学習指導案の作成及び模擬授業を通して実践力を高める。さらに、国語科を核とした様々な連携について学ぶ。		
授業の到達目標	国語科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された国語科の学習内容の背景となる学問領域と関連させて理解を深めると共に、様々な学習理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。		
授業計画			担当者
第1回	ガイダンスー 小学校国語科授業の振り返りからみる国語科の目標		藤川
第2回	C「読むこと」(文学的文章)の実践事例からみる目標・内容・指導上の留意点		藤川
第3回	C「読むこと」(説明的文章)の実践事例からみる目標・内容・指導上の留意点		藤川
第4回	A「話すこと・聞くこと」の実践事例からみる目標・内容・指導上の留意点		藤川
第5回	B「書くこと」の実践事例からみる目標・内容・指導上の留意点		藤川
第6回	[知識及び技能]の実践事例からみる目標・内容・指導上の留意点		藤川
第7回	国語科の背景となる言語学・文学・認知心理学等の知見を活かした教材分析		藤川
第8回	模擬授業に向けた国語科学習指導案の構成の理解		藤川
第9回	模擬授業に向けた子どもの認識・思考の活性化を促す情報機器・教材の工夫		藤川
第10回	情報機器・教材を活用した国語科における学習評価の工夫		藤川
第11回	模擬授業①と振り返り(子どもの学力がみえる評価方法に向けての検討)		藤川
第12回	模擬授業②と振り返り(子どもの認識・思考を活かす教具・板書に向けての検討)		藤川
第13回	模擬授業③と振り返り(主体的・対話的で深い学びに向けての検討)		藤川
第14回	小学校入門期の国語科授業(保・幼・小連携の視点)		藤川
第15回	目指す国語科授業の構想(国語科の本質を考える)		藤川
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ことばドリル、お伝と伝じろう、わかる国語 読み書きのツボ(NHK for school)などの国語科教育に関連する番組を視聴する。 小学校で使用されている国語教科書を図書館で借り、どのような教材があるのか読む。 		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合(定期試験を含む)、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	講義終了後及びオフィスアワー等で対応する		
オフィスアワー	水曜日 13:00~14:25(西館405)		
テキスト	『小学校学習指導要領(平成二十九年告示)解説 国語編』文部科学省 東洋館出版社 2018 ¥162 (ISBN-10: 4491034621)		
参考文献等	『国語教育指導用語辞典(第五版)』田近洵一・井上尚美・中村和宏編 教育出版 2018 ¥4,000 (ISBN-10: 4316804618) 『あらゆる教材を「図解」する! 小学校国語科教材研究シートの活用』「ことばの学び」を開く会・香月正登 東洋館出版社 2013 ¥1,900 (ISBN-10: 4491029563)		
成績評価基準	学習指導要領における国語科の内容を踏まえ、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付けること。		
成績評価の方法	最終レポート(70%・・・模擬授業の振り返り(30%)+改訂版指導案(40%)) 模擬授業の発表内容(15%)、毎時間ごとの授業感想ミニレポート(15%)		
GPA基準			
備考	単位互換[KRICE]提供科目		

科目名	保育原理		
担当者	丸田 愛子		
授業形式	講義	科目ナンバー	
配当年次	1	科目群	専門科目(教員免許)
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修: 幼教免、保育士証		
授業の概要	「保育」の役割や施設保育の目的を理解し、保育の思想や歴史や制度を踏まえた上で現代保育の課題解決について学ぶ。保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭の専門性について講義する。		
授業の到達目標	1. 教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。 2. 教育を成り立たせる子ども、教員及び家族等の相互関係を理解している。 3. 現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション		丸田
第2回	「保育」の概念と意義について、養護と保育及び子どもの最善の利益の観点から学ぶ		丸田
第3回	保育所・幼稚園・認定こども園の施設保育の目的を理解する		丸田
第4回	養護と保育の一体性について学び、子どもの生活と遊び(活動)について考える		丸田
第5回	子育て支援及び地域貢献を理解し、教育・保育における相互関係について学ぶ		丸田
第6回	保育内容5領域を学び、総合的な教育・保育の在り方について検討する		丸田
第7回	発達過程をもとに、特別な支援を要する乳幼児を含め一人ひとりに応じた保育援助の方法を学ぶ		丸田
第8回	教育・保育に関する計画を理解し、ICTを用いて立案する能力を養う		丸田
第9回	教育・保育に関する評価を理解し、保育者の資質向上について考える		丸田
第10回	保育に関する計画のグループ発表及び中間まとめに取り組む		丸田
第11回	保育の歴史について基本的な知識を身につける		丸田
第12回	保育の歴史について過去から現代に至るまでの変遷について捉える		丸田
第13回	近代社会以降の教育・保育制度及び思想を学び、現代保育の課題を解決する能力を養う		丸田
第14回	現代社会以降の教育・保育制度を学び、現代保育の課題を解決する能力を養う		丸田
第15回	現代社会の教育・保育制度を理解し、自らの生活で活用する方法を考える		丸田
事前・事後学習	事前学習: 配布プリントは、資料として各自整理し学習内容を予習すること 事後学習: 学習内容を復習し、不明な点を残さないようにすること		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、授業内で課題の要点に触れる。個別に指導添削をする。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等を活用して対応する		
オフィスアワー	丸田: 火曜日・水曜日 16:30~18:00 研究室(西館403号室)		
テキスト	『保育の実践・原理・内容 第3版』無藤隆 編 ミネルヴァ書房 2016年 2,400円(税抜き)ISBN978-4-025-06648-3 ・『保育所保育指針解説』厚生労働省 平成30年 320円(税抜き)ISBN978-4-577-81448-2 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府 平成30年 350円(税抜き)ISBN978-4-577-81449-9 ・『幼稚園教育要領解説』文部科学省 平成30年 240円(税抜き)ISBN978-4-577-81447-5		
参考文献等	『保育所保育指針ハンドブック』監修 汐見稔幸 学研教育みらい 2017 1,700円(税抜き)ISBN978-4058008096		
成績評価基準	教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解すること		
成績評価の方法	受講態度及び課題の提出状況(20%)及び定期試験(80%)による総合評価とする		
GPA基準			
備考	単位互換[KRICE]提供科目		

科目名	保育の方法・技術		
担当者	本田 和也		
授業形式	講義	科目ナンバー	
配当年次	1	科目群	専門科目(教員免許)
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修: 幼教免、保育士証		
授業の概要	幼児期に育みたい資質・能力について理解し、保育内容の各領域について、ねらいと内容を専門的領域と関連させて理解するとともに、具体的な指導をするための方法や技術を身に付ける。		
授業の到達目標	1. 幼稚園教育・保育所・幼保連携型認定こども園等における教育・保育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解し、幼児期における育みたい資質・能力との関連が分かる 2. 幼児の主体的・対話的で深い学びを促す具体的な保育指導方法を身に付ける。		
授業計画			担当者
第1回	幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園における教育・保育要領の全体構造を把握する	本田	
第2回	幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園の保育の基本を理解し、各領域の保育内容について理解する	本田	
第3回	各領域の指導内容を理解し、指導上の留意点を理解する(幼稚園)	本田	
第4回	乳児を含めた指導内容を理解し、指導上の留意点を理解する(保育所・幼保連携型認定こども園)	本田	
第5回	保育・教育の評価について理解する	本田	
第6回	領域ごとに身に付けていく内容と小学校の教科とのつながりについて理解する	本田	
第7回	乳幼児期における学びの特性について理解する	本田	
第8回	乳幼児期にふさわしい学びの方法を理解し、保育を構想する重要性を理解する	本田	
第9回	情報機器を活用し保育に生かすことができる	本田	
第10回	指導案の構造を理解する	本田	
第11回	具体的な保育を想定し、指導案を作成することができる	本田	
第12回	指導案における教師の援助について理解を深め、具体的に考えることができる	本田	
第13回	模擬保育を行い、保育を実践する力を身に付ける	本田	
第14回	模擬保育の振り返りを通して、保育の問題点を挙げて、改善すべき点分かる	本田	
第15回	保育の実践記録をから、保育の構想の向上に取り組むことができる	本田	
事前・事後学習	事後指導…授業時に配布したプリントを復習しておくこと		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合に応じて、個別に対応する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する		
オフィスアワー	水曜日 16:30～18:00 研究室(西館311号室)		
テキスト	保育所保育指針 厚生労働省 フレーベル館 2018年 346円 (978-4577814482) 幼稚園教育要領 文部科学省 フレーベル館 2018年 259円 (978-4577814475) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 文部科学省・内閣府・厚生労働省 フレーベル館 2018年 378円 (978-4577814499)		
参考文献等	実習の手引き(鹿児島女子短期大学作成) 実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド(小櫃 智子著、わかば社) 子どもの発達と保育の本(湯汲英史著、学研)		
成績評価基準	幼稚園教育・保育所・幼保連携型認定こども園等における教育・保育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解し、幼児期における育みたい資質・能力との関連が分かること 幼児の主体的・対話的で深い学びを促す具体的な保育指導方法を理解すること		
成績評価の方法	保育案の作成(40%)、2回実施するレポートの提出(30%)、模擬授業の発表(30%)		
GPA基準			
備考	単位互換[KRICE]提供科目、他学科開放科目		

科目名	子どもの健康と安全		
担当者	宇都 弘美		
授業形式	演習	科目ナンバー	
配当年次	1	科目群	専門科目(保育士証)
開講期	後期	卒業の選択・必修	卒業選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:保育士証		
授業の概要	子どもの健康管理に必要な技術及び安全に係る保健活動について、子どもの心身の不調に対応するための観察ポイントや処置、事故を予防するための環境管理を具体的に理解する。さらに、実習に向けて、保育者としての自身の健康管理や地域の資源の活用についても学ぶ。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの健康及び安全に係る保健活動のしくみを学ぶ 2. 子どもの心身観察ポイントや処置、事故とその予防を学ぶ 3. 実習に向けて、自身の健康管理や地域の資源の活用について学ぶ 		
授業計画		担当者	
第1回	講義ガイダンス、班分け、保健活動の考え方	宇都	
第2回	健康状態の観察と方法(バイタルサインの観察)	宇都	
第3回	衛生管理と感染予防・手洗い	宇都	
第4回	感染症発生時と罹患後の対応	宇都	
第5回	事故と対策、事故防止グッズの紹介	宇都	
第6回	応急処置、ケガの手当て	宇都	
第7回	運搬法	宇都	
第8回	危機管理、災害への備え	宇都	
第9回	心肺蘇生法	宇都	
第10回	個別的な配慮を要する子どもへの対応(慢性疾患・アレルギー疾患等)	宇都	
第11回	障害のある子どもへの対応	宇都	
第12回	健康及び安全管理	宇都	
第13回	保健活動における家庭との連携	宇都	
第14回	母子保健・地域保健における連携と協働	宇都	
第15回	保健計画と保健活動及び評価	宇都	
事前・事後学習	事前学習として授業内容をシラバスで確認し、該当箇所を予習したり、授業後には事後学習として毎回約1時間程度の復習をして、授業内容の確認をすること。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合(定期試験を含む)求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	月・金曜日の昼休み時間(西館311号 宇都研究室)		
テキスト	開講時に指示する。		
参考文献等	『子どもの保健実習』:兼松百合子他編著,同文書院 を新カリ科目対応に改訂中		
成績評価基準	授業の到達目標の子どもに対する保健活動の仕組みや健康観察ポイント、事故について、学べているかを問う課題(小テスト)と応急処置の技術試験および演習への参加態度を総合的に評価し、6割以上の得点を合格とする。		
成績評価の方法	演習への取り組み状況(授業態度)(20%) 技術試験(30%) 期末試験(50%)		
GPA基準			
備考			